



区民の声に向き合う区政に

北区議会第3回
定例会が開会

のの山けん区議が代表質問

12日、北区議会第3回定例会本会議で、日本共産党北区議員団を代表して、のの山けん区議が質問に立ち、区政の課題について花川区長に質しました。

核兵器禁止条約参加求めよ 原発依存から脱却のエネルギー施策を

この7月に国連会議で人類初の核兵器禁止条約が採択されたことを紹介、政府に条約への参加を促すよう区長に求めました。

のの山区議はまず、この7月に国連会議で人類初の核兵器禁止条約が採択されたことを紹介、政府に条約への参加を促すよう区長に求めました。

で、「これらは緊迫する東アジア情勢に照らしても、極めて重要な問題。北朝鮮のミサイルが原発を直撃すれば福島原発事故どころの騒ぎではない。日本政府は今こそ、戦争回避のために米朝対話と呼びかけるべきだ。その際、北朝鮮に核を放棄させるためには、『核抑止力』論から抜け出し、核兵器が違法であると迫ってこそ道理が立つ。区長は、核兵器禁止条約への参加、原発政策の見直しを国に求めるべきだ」と強く要望しました。

のの山区議は再質問

まちづくりは住民合意で 国交省指針に基づく道路計画見直しを

特定整備路線や商店街を丸ごと立ち退かせ

ミニシティを壊す志茂

る85号線の拡幅など、住民不在の道路計画について、のの山区議は「安倍政権も都市計画道路の見直し加速を言い始め、国交省が『見直しガイドライン』を示し、全国各地で見直し作業が始まっている。他県の例に従えば、公園を分断し、文化財を壊す赤西86号線、コ

86号線、商店街に重大な影響を与える十条73号線などはすべて見直し対象だ。区長は東京都に對し、これらの計画を見直し対象とするよう働きかけるべきだ」と迫りました。区長は「見直しは求めず丁寧な説明に努める」などと答えましたが、住民合意には一切触れませんでした。



質問する、のの山けん区議

ここは
まるで

巨大な地下神殿

大谷石採石場跡

栃木・宇都宮

日本共産党志茂・赤羽後援会

日帰りバス旅行



10日、日本共産党志茂・赤羽後援会恒例の秋の日帰りバス旅行で栃木県を訪れました。(のの山けん)

快晴の秋空の下、42人に乗せたバスは、そねはじめ都議に見送られ、早朝8時に赤羽を出発。東北自動車道を順調に進み、9時すぎには道の駅「みかも」に到着しました。

新鮮野菜の買い物を楽しんだ後、再び高速道路に入り、北関東道真岡インターまで。ちなみに、「みかも」は漢字で書くと「三義」「真岡」はひらがなで「もおか」とガイドさんに教えてもらいましたが、日本語というのは本当に難しい。

「素朴さ」が特徴の益子焼

昼食は益子共販センターで。益子焼で有名な益子町ですが、入口



道の駅「みかも」で新鮮野菜の買い物

に立ちほだかる巨大なたぬきも益子焼でできているのでしょうか。彩も鮮やかな釜飯定食をいただいた後は、益子焼の店が並ぶ街並みを散策。焼物には詳しくない私ですが、湯飲みや徳利など益子焼の作品を手にとってみると、飾らない質感が心地よい。焼物らしい「素朴さ」が益子焼の特徴なのでしょう。

続いてバスは、一般道を通り宇都宮へ。めざすは今回のお目当て、大谷石採石場跡です。

て、大谷石採石場跡です。

壮絶な採石労働に想い馳せる

大谷に入ると、あちこちに大谷石を使った建物や、むきだしになった大谷石の岩肌が現れました。

大谷石資料館に入り、まずは地下採掘場の歴史と概要を展示で学習。階段を下ると、目の前に巨大な跡地が姿を現しました。そこはまるで地下神殿のような異空間。厳しい残暑の地上から一転、毛布が欲しいくらいひんやりした室温です。



彩も鮮やかな釜飯定食をいただく

足早に歩いて30分はかかる巨大な地下室内。現在はライトアップされ、美術品やステージも整備されていますが、江戸時代から機械化された1960年頃までは、手掘りで石を運び出していたそうです。当時の壮絶な採石労働が目に見え、思わず想いを馳せました。

近年でイチオシのバス旅行となりました。



益子共販センターの巨大たぬき